

活動団体： 特定非営利活動法人ケニアの未来

～子どもたちをすくい上げられるしなやかな社会を作る～

団体の活動



「ケニアの子どもたちに、安心して大人になれる社会を」。そんな思いから、2014年に「ケニアの未来プロジェクト」として活動を開始し、2016年にNPO法人化しました。育児放棄や虐待、非行などで社会から阻害された子どもたちを、施設ではなくケニア人自身が地域で守り育てることを目指しています。保護司制度の導入や早期妊娠予防、非行防止教育、子どもの居場所づくりなどに取り組み、JICAの好事例にも選出されました。現在も、外国からの支援に頼るのではなく、ケニア人自身が主役となり、地域で子どもたちの未来を支える活動を続けています。<https://kenyanomirai.org/en/>



国内オンラインイベント



子どもの居場所事業「Nafasi」での様子

インターンプロフィール

中森寧々

大学院にて国際開発学を専攻。在学中は国際人権NGOにて広報活動に従事。2026年6月より当団体国内インターンとして、ファンドレイズならびに広報業務、組織基盤強化に携わる。

所属団体で活動するきっかけ

大学院で人身売買の問題を研究し、貧困や教育機会の不足、社会的孤立といった構造的な課題が子どもたちの将来に大きな影響を与えることを学ぶ中で、子どもを守るには地域社会全体で支える仕組みが必要だと考えようになりました。子どもたちを取り巻く環境そのものに働きかけ、保護者や地域住民、行政と協力しながら持続可能な仕組みを築こうとする当団体の取り組みに共感しました。

どのような業務（活動）をおこなっているか

国内事業インターンとして、組織基盤強化の補佐、寄付キャンペーンの管理運営や支援してくださる個人寄付者へのお礼メールの送付を行っています。また、当団体の活動をより多くの人に知ってもらうため、オンラインイベント発案・運営、広報資料作成、SNS 管理等を行なっています。

スキルアップのためにしていること

一つ目は、より効果的な広報をするための Canva の勉強です。二つ目は、本やオンラインツールを用いて、ファンドレイズや組織基盤強化について学んでいます。

海外研修について ～どこで何を行う予定？

ケニアのマチャコス地方で、農村部の子どもたちの居場所事業「Nafasi」と、個別支援事業に携わる予定です。プロジェクト以外には、会計業務や監査報告書の作成補佐等を行い、現地事業で必要とされる総務と組織運営を学ぶ予定です。

今後のビジョンは？

課題が起きないようにするための政策立案に将来的に関わるための実践的な経験を積みながら広報・ファンドレイジング・総務など、幅広い実務スキルを身につけたいと考えています。当団体でのインターンを通じて得た現場感覚や知識を活かしながら、社会と政策をつなぐ役割を果たせる人材になることを目標としています。

国際協力分野で活動を目指す人へのメッセージ

自分にはどのような形の国際協力が向いているか、自分の得意・不得意を知るためにも、たとえ国際協力に関連のない事でも、いろいろなことに挑戦してみることが大切だと思います。また、私自身もそうですが、なぜ自分が国際協力の道で活動したいのか、その原点となる気持ちを忘れずに行動し続けていきたいです。

団体アピール

すべての子どもが、「自分は大切にされている」と実感しながら、未来に向かって歩んでいけるように。ケニアの未来は、育児放棄や虐待、非行などで社会から阻害された子どもたちを、施設ではなくケニア人自身が地域で守り育てることを目指しています。